

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

601-606

事務事業名	りんご並木管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	4	3	10	2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	46 活気ある街づくりの推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	中心市街地活性化基本計画							
		事業期間		年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	りんご並木	扇町～中央通り(延長:m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			350		350	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	通行する(利用する)人や車が安全に、また不都合なく利用できる	危険や不都合を感じた利用者の割合	18目標	最終目標	0	
			18実績	19目標	0	↑
			23目標	23実績		最終目標達成年度
			18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	修繕・清掃・光熱水費 <参考> 細々 目名:りんご並木管理費	施設管理(除草・剪定・設備等点検) 施設修繕	施設管理延長 修繕工事件数	350 6
	18年度の実績			
	19年度計画	施設管理(除草・剪定・設備等点検) 施設修繕	施設管理延長 修繕工事件数	350 10

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	3,840	3,764
事業費計(A)	3,840	3,764	
人件費	正規職員所要時間	18年度 250	19年度 250
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	894	894
	トータルコストA+B	4,734	4,658

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	人や物が集まり活気がある	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数 本町1、銀座、りんご並木 知久町、駅前、中央通り4	現状値	8942	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	9200
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市のシンボルでもあるリンゴ並木が、多くの市民団体によるフォーラム等を経て、平成11年にりんご並木の再整備事業が完了した。植栽も多く、道路としては特殊な施設もあり、経常的な行政の管理対応を必要とすることから管理事業を開始した。	再開発事業の完成等近隣の整備とも相まって、リンゴ並木を訪れる市民・観光客は多くなってきている。夏祭り・人形劇フェスタ等のイベントにおけるポテンシャルは非常に高い。歩行者優先を指導しているが、通過車両も多く、煉瓦舗装・照明器具等の修繕対応の必要箇所も増えている。	利用者や近隣住民からは、より質の高い植栽管理の要望は強く、予算配分の検討を迫られている。また、利用者の歩行者優先意識は高まっており、車両の通行規制を望む声も多い。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 維持管理が適切に行われる事で、良好な施設が保たれ人が集まる環境が整う。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由) 現状の施設等を、維持する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 現在のリンゴ並木の特殊性からエリアを限定している。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 代わりに管理していく機関がない。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 施設の維持管理事業である。			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 市道であり、飯田のシンボルとして貴重な財産である。		効率性評価	
		公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？		(評価) 妥当でない (受益者とその理由) 不特定多数の利用者のある市の施設であり、特定の負担金等は適切でない。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <div style="position: absolute; left: 100px; top: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;">実施年度</div> <div style="position: absolute; left: 180px; top: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;">具体化</div>	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	